

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和7年3月2日
放課後等デイサービス エミフル						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	・活動内容に合わせてホールや小上がり等のスペースを活用している。	・活動スペースがせまく利用人数によっては支援が難しい日もある。 ・利用者の成長と共に部屋が狭く感じてきた。 ・「はい」ではあるが利用者の成長に合わせて支援スペースの拡充が望ましい。 ・学年が上がるとともに狭く感じる。もう少し広い方がより支援しやすくなる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	・利用者の増加に伴い新しく職員を追加で配置している。	・非常勤のスタッフも終日勤務する日を作ることで、より常勤スタッフとの情報共有ができると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・建物の構造上仕方ない面もあるが、危険の無いよう配慮や工夫している。	・借りている物件のため、バリアフリー化は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・常に清掃が行き届いていて、玩具も消毒して衛生的な環境である。 ・日々ホールや玩具の消毒や除菌を行っている。 ・清潔には配慮されている。	・活動的には狭い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・相談室を設け、個別の空間の確保している。	・個別の部屋はあるが、完全に仕切られていないため工夫が必要。 ・部屋数が少ない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・朝礼や会議等で活動や行事の振り返りをしている。	・会議等で振り返りの時間は設けるがすぐに改善点を話し合うことも必要と感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・昨年よりアンケートを実施しており、意見を基に改善している。 ・自己評価結果を基に改善点を話し合い、次年度の支援の改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・会議以外にも日々の業務の合間に時間を設けている。 ・ミーティングや会議ではスタッフが意見を話す機会はある。	・代表や施設長との個別面談を実施してほしい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・外部のコンサルタントを受け、日々改善を行っている。	・外部のアドバイザーはいるが、外部評価までは至っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・参加の都合がつく研修に参加している。 ・県外で実施の研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・利用者の様子や課題を考慮した上で作成している。 ・ホームページに支援プログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・半年に一度保護者と面談を実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員全体で会議をして上で作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・定期的に振り返りをし、計画に沿った支援をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・アセスメントや日々の記録を基に振り返りをしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・個別支援計画に各項目をのせ、保護者も同意のうえ設定をしている。 ・5領域を意識した支援内容を設定し、スタッフ間の会議等で周知している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・週案や週目標を職員全体で話し合っている。 ・担当のスタッフから週案の内容の確認と改善事項がないかの報告をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎週、別のスタッフがリーダーとなり、多様な視点から構成している。 ・担当のスタッフから週案の内容の確認と改善事項がないかの報告をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・日々の様子を観察しながら、個別と集団活動を柔軟に対応している。	・個別活動の工夫が必要。スペースや内容を考慮しているが改善が必要。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼で支援内容について共有している。 ・担当のスタッフから週案の内容の確認と改善事項がないかの報告をしている。	・支援内容の共有、予定の確認が定着していない場合もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・必ずではないがその日のうちに話し合いが必要なことに関しては共有している。 ・職員全体で振り返りを行い、支援内容の充実化を図っている。	・「はい」ではあるが振り返りはまだ定着していない印象を受ける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・毎日ケース記録の記入を行っている。	・記録はしているが検証はしていない。日々の業務の中で難しい点があるので工夫が必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリングを基に計画内容について改めて話し合いをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・活動内容に偏りが出ないように話し合いを基に方向性を決めている。	

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・スタッフからいくつか選択肢を提供し、自分で決める機会を出来るだけ多く設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達管理責任者及びスタッフ1名が必ず参加し、日々の様子を共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・状況に応じて情報共有の場を設けている。 ・必要に応じて学校等と情報交換会を実施している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・毎月、もしくはその都度対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	・事前に様子や課題を共有し、方向性にズレが生じないようにしている。	・過去に実施した例がないため「いいえ」ではあるが、来年度からは実施して行きたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5		・事例がまだない。 ・まだ1名もその該当者がいないため。 ・過去に実施した例がない。 ・現在まで該当者はいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・情報交換会の場で話を受けている。 ・児童発達支援センターを利用した利用者に対し、必要に応じて情報交換会を実施している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・現在はそのような場に参加していない。 ・町内の集会所で集まる子ども達と交流する機会があればいいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時や連絡帳を活用して日々伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・現在はそういった機会を設けていない。 ・対応できるスタッフがいないため、家族支援としてのペアレントトレーニングはまだ実施できていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・利用契約時に保護者に説明をしている。	・丁寧な説明はしているが、事業所の規程に不足な部分があるため、改善して行きたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・定期的な面談や日々のやりとりを大切にしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・面談時に保護者や本人のニーズを確認してうえで作成している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・相談内容や状況に応じて面談等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	・今年度初めて保護者参加の行事を行ったので、引き続き交流の場を設けていきたい。 ・年度ごとに保護者説明会を実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者が対応窓口となり、苦情が出た際は対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・月間だよりの発行、事業所内掲示板等を活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・スタッフ間で都度確認し、保管場所を決めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・利用者に対しては、特性に応じた配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・事業所の行事に地域住民を招待している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・想定されるケースを中心に独自のマニュアルを作成している。 ・各マニュアルの周知と感染症対策としての模擬研修等を実施している。	・マニュアルは作成しているが家族への周知を分かりやすくしていきたい。 ・策定が十分でないものもあるため、早急に改善し、周知する体制を整えたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的に利用者とともに避難訓練を実施している。 ・業務改善計画を作成し、スタッフ間で周知している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・利用契約時や都度、保護者に確認をとっている。 ・服薬時には保護者に対し処方箋の提出を依頼している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・医師から保護者を介して対応方法について聞き取りをしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・スタッフ間でリスクが高い場面の役割分担や下見を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	・想定されるケースについて都度保護者や利用者に説明をしている。	・3月に保護者説明会があるのでそこで周知していく。 ・現在、電話のみの連絡手段しかないので、連絡網やメールシステムの導入を検討する。 ・メールの一斉送信などのシステムの構築が必要か検討中である。

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・毎月会議を行い、日々のヒヤリハットの振り返り、共有、対策を講じている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止に関する事業所内外の研修に定期的に参加している。 ・厚労省の研修動画を見て周知、対策をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	・利用契約時に説明し、利用者に対しても説明をしている。	・事前の説明で不十分な面があるため徹底することが必要。